

・日時	: 2019年2月19日(水) 13:00~14:30		
・場所	: 東京會館 LEVEL XXI スタールーム		
・説明者:	代表取締役社長	最高経営責任者	CEO 清水 洋史
	取締役	最高戦略責任者	CSO 酒井 幹夫
	取締役	最高財務責任者	CFO 松本 智樹
	Blommer Chocolate Company President and CEO		Peter W. Blommer
	Blommer Chocolate Company CFO		Neal Murphy

### <Blommer CEO Peter への質問>

#### Q.北米市場のマーケット認識と、Blommer 社の成長性は

A .製菓市場の成長は 1-2%だが、チョコレートは幅広い市場で使用されており、強い成長を続けている。

プレミアムチョコレートなどの特に高成長分野である付加価値品群には Blommer も注力しており、Blommer のチョコレート製品全体に占める割合も増えている。また、同分野は不二製油との取り組みにより更に強化されると考えている。

製品ポートフォリオの改善による利益率向上、業務改善でもたらされる歩留まり向上による数量成長に加え、不二製油との調達面や研究開発面での取り組みによるシナジーにより、全体の収益性を向上させることができると考えている。

#### Q.何故 Blommer 社を売却する決断に至ったのか。現状の課題認識は何か

A .25年かけて事業規模を10倍に拡大してきたが、キャパシティやB/S上の制約による機会損失があること、またグローバル展開においてもスピードに欠けることが足元での課題認識であった。そのため、世界で成功していくためのパートナーを得る必要があると考えた。難しい決断ではあったが、正しい決断であったと考えている。

#### Q.不二製油グループに参入することでどのような成長の絵を描いているか

A .現在業務用チョコレート販売数量で世界 No.3 だが、このポジションを更に高めていけるものと考えている。顧客も、不二製油グループと Blommer のコンビネーションに高い期待を寄せている。戦略を進めるにあたってはチームの融合が不可欠であり最大のポイントである。自身および不二製油の酒井氏や PMI メンバーと共に全米の全社員へ説明を行うなど、従業員に対するケアを重視し、進めている。

### <今後の成長計画について>

#### Q.何故両社のシナジーによりトップラインは伸びるのか

A.Blommer は世界をリードする大手多国籍企業の重要なサプライヤーであり、親密な関係を築いている。北米市場自体の成長に加え、大手多国籍企業のターゲットエリアであるアジア・オセアニア圏において、当社グループの拠点より供給を行い、環太平洋市場でトップラインを伸ばしていけると考える。

#### Q.Blommer のオペレーション効率改善の実効性は

A.当該買収の前から Blommer が計画していたプログラムをベースに実行に移し始めている。合理化のためのシステム導入により、生産効率の改善および品質向上を図っている。また、両社の異なる見地に基づくダイバーシティが、他社にない創造性を発揮することに期待したい。

#### Q.不二製油グループが今後より強靱なポートフォリオをつくっていくための方針は

A.収益性の低い事業の整理が絶対的な課題であり、国内外ともにスピードをもって改革を進めていく。

以上